

授業科目名称 : MICE研修

授業コード : 01520

授業科目英文名称 : Training for MICE

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	1	選択
担当教員			
森尾 真之 (実務経験のある教員)			
展開方法	講義・実習		
ナンバリング	CA309		
添付ファイル			
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法 評価比率
専門力	①MICE人材に求められる資質や知識について理解し、自身のスキルとして獲得するための方法について認識できる。 ②主催者、参加者の視点で提供したサービスに対して振り替えることができる。		実習レポート△ 10%
情報収集、分析力	実習での気づきについて理解を深め、課題に対して自分の意見として指摘することができる。		プレゼンテーション○ 30%
コミュニケーション力	①実際に事業の現場に参加することで業務内容を理解し、関係者間の連携の重要性について自分の視点で述べるができる。 ②グループでのプレゼンテーションの論点整理などにおいてチームビルディングに貢献することができる。		実習レポート△ 10%
協働・課題解決力	実習現場で指示に従い、メンバーと協力しながら与えられた役割や成果を上げることができる。		実習◎ 50%
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	MICEとは企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、出島メッセ長崎及び「グローバルMICE戦略都市」である福岡市など北部九州における拠点整備が進んでいる。本講義専門家の監修のもと、実際MICEの現場をフィールドとした実習体験や事前事後の講義などの実践的で高度な専門的講義である。		
アクティブラーニングの類型	④ 学修者個人やグループに課題解決を促す授業 (PBL等) ⑥ ある課題について調査した結果を個人やグループで発表させる授業 ⑦ ある体験を課し、その中で感じたことをもとに議論したり、発表させる授業 ⑪ 既修事項をもとにした能動的な活動を行う授業		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	履修対象は専門講義「MICE論」を履修した3年生以上の学生。実習では実習時の態度や積極性を受け入れ側の評価に基づき、総合的に教員が評価 (50%)、プレゼンテーションではMICE誘致につながるブランディングについて、実習や講義の中から自分の視点で述べられているかどうか (30%)、課題レポートでは実習を通した振り返りとMICE産業に携わる職業観と地域観光に資する意義を理解しているかどうかを、ポートフォリオからフィードバックとして評価する (20%)。		
授業概要	MICEに関する現役の実務家である各分野 (行政、会議運営会社、ホテル、旅行会社、会議施設、イベント企画会社など) の外部講師と旅行業での実務経験のある担当教員との協働による授業で、実際のMICE現場での実習も踏まえた実践型講義である。また実習を通じて得た経験をもとに、与えられた課題についてグループプレゼンテーションを行い、運営会議会社の実務担当の方からの指導・評価を受ける。なお実施時期は11月以降で、対象となる会議が決定後に履修スケジュールが発表される。また本講義の受講者数は10名程度とし、履修希望者が受講者受け入れ数を超過した場合は、必要な選考を行う場合がある。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。		
教科書・参考書・指定図書	教科書/参考書: 特に定めない。「MICE論」講義レジュメなどや適宜資料を配布し使用する。 指定図書: イベント&コンベンション概論 (J T B総合研究所)		
授業外における学修及び学生に期待すること	本講義は外部の関係者に多大な支援を得て実施する講義であり、MICE関連産業のキャリアを真剣に考えたい学生を対象とするインターンシップ型講義であることから、学習に対して積極的な関心をもって授業に臨むことを期待する。実習について、正当な理由がない場合の欠席は認めない。実習にかかる交通費などは個人の負担となることからあらかじめ承知の上履修登録を行うこと。		
授業計画	回	テーマ	授業の内容 予習・復習
	1	オリエンテーション (講義)	・本講義の進め方と実習についての説明 ・PC0業務の基礎知識 (事業の利益構造や誘致戦略について学ぶ) ・プレゼンテーションの課題について 予習: シラバスを読む 復習: 実習時期のスケジュールを確認する。

2	実習準備	【実習対象となる案件について学習】（講義） ・会議の目的・参加者・スケジュールの確認 ・PCOの業務内容と役割分担	予習：MICE論「PCOの仕事」について復習 復習：実習における注意事項の確認
3	実習	【MICE演習】 福岡国際会議場または出島メッセ長崎で実施される会議の現場で実習を行う。 (1日～1日半)	予習：学会の内容について理解しておく。 復習：実習レポートの作成
4	実習	【MICE演習】 福岡国際会議場または出島メッセ長崎で実施される会議の現場で実習を行う。 (1日～1日半)	復習：実習レポートの作成
5	実習	【MICE演習】 福岡国際会議場または出島メッセ長崎で実施される会議の現場で実習を行う。 (1日～1日半)	復習：実習レポートの作成
6	実習	【MICE演習】 福岡国際会議場または出島メッセ長崎で実施される会議の現場で実習を行う。 (1日～1日半)	復習：実習レポートの作成
7	実習振り返り (レポート課題)	・各役割の振り返りと発表（グループワーク） ・「MICEの現場から何を学んだか」プレゼンテーションの起案	予習：レポートの発表準備 復習：プレゼン内容の確認
8	プレゼンテーション	振り返りのレポート発表（プレゼンテーション）とディスカッションを行う。	予習：プレゼン内容の最終チェック 復習：プレゼン評価の振り返り